

## 2025年度 第2回千葉県里親会研修

### 第6回ちば社会的養護関係者フォーラムのご案内

#### 【背景と目的】

現在、各種施設や里親家庭等で生活する子どもたちの一定数はなんらかの発達課題があることが数値により報告されています。発達課題やそれに伴うメンタル面の不調など多様なニーズを抱える子どもたちに対して、施設等の心理職や担当支援員、里親や児童相談所職員が連携して家庭復帰や社会的自立に向けての支援等を行っていますが、学校生活等における学習課題や人間関係を含む社会性を獲得するそれぞれの段階で躊躇したりスムーズな発達課題の移行に困難を抱えるケースもあり対応や支援、養育に悩みも多いのが現状です。

生活の土台となる育ちの中で、私たち社会的養護の担い手である養育者、支援者は様々なケースに個々に対応するのではなく地域の社会資源を知り、つながりを持ち、子どもたちのためにそれらの社会資源を活用したり、調整依頼できるスキルを身に着けることで多様なニーズを抱える子どもたちへの対応の引出し、あるいは対応キットを増やすことにつながり、ひいては子どもたちの育ちを支える力となると考えます。

今回の研修では、発達障害やメンタル疾患について正しい知識を学ぶ、障害等に関する地域の社会資源を知り、その役割や連携の仕方を学ぶ、各支援機関との横や斜めのつながりをつくることを目的とします。今回は、ちば社会的養護関係者フォーラムとの共催です。

【日時】令和8年2月14日（土）13：45～16：50

【場所】株式会社ドットライン

千葉市美浜区中瀬2-6-1 ワールドビジネスガーデンマリブウェスト34階

\*託児会場はワールドビジネスガーデンマリブウェスト29F

#### 【参加対象者】

千葉県里親会会員、千葉県内社会的養護関係者（児童養護施設、乳児園、自立援助ホーム、ファミリーホーム、里親、児童相談所等）、その他社会的養護に关心のある方

#### 【参加申込み】

以下の申し込みフォームより受け付けています。

<https://forms.gle/GGDP1chmqa4BDwAYA>

または里親会事務局へお問い合わせください

## 【研修内容】

第一部 講義 60分 + 10分質疑応答

「子ども・若者のメンタル疾患と自立支援に向けて養育者が学ぶこと」

新津田沼メンタルクリニック 副院長

株式会社ライデック（発達特性研究所）代表 精神科医 松澤大輔氏

◆子ども・若者に関する発達障害、学習障害、メンタル疾患、メンタルヘルス等について

◆障害特性等を踏まえ、社会的自立に向けて日々の養育における対応のアドバイス等について

第二部 支援機関発表 60分（各15分×4団体）

～自立や就労支援等に関する地域の社会資源を「知る」ことからはじめよう～

◆各支援機関の役割について

◆障害や発達課題のある若者たちへの就労及び自立支援についての事例

◆各支援機関との連携の仕方について

① 障害者就業・生活支援センター 千葉障害者キャリアセンター センター長 藤尾健二氏

② ハローワーク船橋 専門援助部門 精神・発達障害者雇用サポーター 星野博己氏

③ 就労移行支援事業所 ジョブサ 事業責任者 坂井智明氏

④ 就労継続支援A型事業所 ドットワーク海浜幕張WBG 事業責任者 田島翔太氏

第三部 ～全体交流～ 30分

参加者同士で自由に語りあう時間です、質疑応答や、全体意見交換、自由でオープンに

## 【タイムスケジュール】

13:15 託児希望者受付、受付後託児会場へ移動

13:30 参加者受付

13:45 研修開始、

14:00 第一部 講義、質疑応答

15:10 休憩

15:20 第二部 支援機関登壇者発表（各機関15分）

16:20 第三部 全体交流

16:50 終了

## 【その他】

・託児のご用意もしています。（事前申込必須）

会場はワールドビジネスガーデンマリブウェスト29Fになります